

「やっほー、弟君♡ タダマンデリヘルアイドルのスピカ♡ 今日も弟君に呼び出されたから、デカ乳揺らしてやってきましたー♡」

「毎日ルミナたちのことをあんなにヤリ捨ててるのに、オチンポ満足しないなんて……兄さんは底なしだね♡」

部屋に入ってくるなり当然のように服を脱ぎ、自慢のおっぱいを惜しげもなく晒してあなたの前にひざまずくのは、ふたりの美少女姉妹。

すでに引退済みの元大人気アイドル、姉のスピカと妹のルミナだった。

自慢のKカップおっぱいとJカップおっぱいを密着させて乳合わせをしながら、ふたりは甘く囁く。

「今日は、弟君が大好きな大きいおっぱいで、オチンポを気持ちよくしてあげるね♡」

「ルミナたちのデカパイをこうしてくっつければ、デカパイダブルオマンコの完成♡ さあ、おっぱいとおっぱいの間に、兄さんの格好いいチンポを突っ込んでみて？」

誘われるように、勃起したチンポをゆっくりと双乳の間に差し込んでいく。

「あっ♡ あっ♡ おっぱいマンコにチンチン入っちゃう♡」

「おっ♡ おおっ……♡ 乳首にチンポ擦れる……♡」

107センチのJカップに、110センチのKカップ。合わせて200センチオーバーの国宝級おっぱいの中にチンポをねじ込むと、温かな乳房の熱と共に息が漏れるほどの多幸福感が伝わってきた。

アイドル史上最高峰の100センチ越えのデカ乳は、かつてファンたちを乳揺れダンスでシコらせまくった伝説を持つ。

それが今や、あなたのチンポをシコらせるためだけに存在する、デカパイオナホである。

その事実がチンポを震わせ、力強いピストンを行わせる。

「んんっ♡ あっ、あぁっ♡ はぁっ……あぁんっ♡ 弟君のオチンポ、すごい勢いだね♡ スピカたちのおっぱいマンコをズコズコ犯しまくってる♡」

「んふっ♡ んんっ♡ おっおっ……♡ おおっ♡ パイズリなのに……本当にオマンコ犯されてるみたい♡」

「あっ……あぁぁっ♡ 弟君のおっぱいマンコガチ犯しピストン……♡ オマンコにまで響くう～♡」

「格好いいオチンポパコパコをおっぱいで感じて、ルミナのオマンコがチンポでハメられてるって勘違いしてるの……♡」

「スピカのオマンコもだよ……♡ タダマンデリヘルマンコ……♡ マン汁垂らして感じまくりです♡」

毎日マンコを好き放題やられまくっている賜物なのか、ただデカパイでパイズリしているだけだというのに、ふたりはすっかり交尾気分だ。

「おっ♡ おおっ♡ ほおっ♡ んおおおっ♡ やっぱあい……♡ デカ乳マンコファック……♡ スピカの本物マンコにキクう……♡」

「くうっ♡ うおっ♡ おおおっ……♡ おっ、やべっ♡ パイズリ交尾……たまない……♡」

「おっおっおっおっおっおっおっ♡ おお～♡ これやばっ♡ おっぱいマンコと一緒に本物マンコもいっちゃう♡」

「あ～……ルミナのマンコもイキそう……♡」

「弟君……♡ 中だし♡ 中だししてね？ スピカたちのおっぱいに、びゅう～って乳内射精……♡」

「ルミナたちのエロエロおっぱいマンコの中で射精して、スケベな本物マンコにも中だし気分を味わわせて欲しいな♡」

デカパイアイドル必死の種付け懇願に、チンポの高揚感も高まりっぱなしだ。

射精衝動に流されるまま、柔らかいもちもち乳房の間で射精の引き金を放つ。

どびゅどびゅどびゅどびゅ～っ！

「ほおおお～～♡」

「ぐう～～♡」

チンポが脈動して精液を放つたびにスピカはかん高く鳴いて肩を震わし、ルミナは歯を食いしばるようにして獣がうなるような重低音のオホ声を響かせる。

アイドル失格のオホ声アクメユニゾンに、射精の勢いがとまらない。

「おおっ♡ おおお～♡ 射精長すぎ……♡ おっ♡ イクイクイクイク♡ マンコイクッ♡」

「うおお……♡ ヤッベ……♡ 便所マンコイってる……♡」

ただの乳内射精で、まるで種付け中出しをキメられてるかのような大騒ぎ。

ぶるぶると震えてアクメを噛みしめるオマンコアイドルたちは、今日も、明日も、明後日も……
永遠にあなたの物。

「お、弟君……♡ 次は、スピカたちに何をさせたいのかな～？」

「オマンコをサンドバック代わりにしてボコ殴りセックスでもする？ あっ……全裸で持ち曲
歌わせながら手マンカラオケでもいいよ♡」

「なにをしても、弟君の自由だよ♡ だって、スピカと……」

「ルミナは……」

「弟君専用オマンコアイドルだから♡」

「兄さん専用オマンコアイドルだから♡」